

6月 パルクとよた公開セミナー

子どもの行動の「なぜ？」を読み解き、
「望ましい行動」を引き出すために【第2弾】
～応用行動分析の視点を活かしたアプローチ（実践編）～

講師 小倉 靖範 氏【愛知教育大学 特別支援教育講座 准教授】

【講師プロフィール】

小倉 靖範（おぐら やすのり）

北海道内の特別支援学校において勤務した後、北海道教育委員会からの現職教員派遣として筑波大学大学院にて特別支援教育に関する研究を深める。修了後は、日本で唯一、知的障がいを伴う閉症児のみが学ぶ筑波大学附属久里浜特別支援学校においても勤務した。

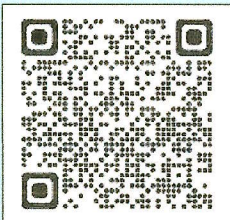
2018年4月より愛知教育大学 特別支援教育講座に着任。2020年4月からは、愛知教育大学インクルーシブ教育推進センター長も兼任し、肢体不自由教育における教育課程や指導方法に関する研究を中心に、教科指導との関連を明確にした自立活動の指導、応用行動分析の視点を生かした授業づくり、授業のユニバーサルデザインなど、幅広い分野において自身の実践経験を生かした講演会やセミナーを多数行っている。

昨年度の第1弾では、子どもの気になる行動の背景にある「なぜ？」を、応用行動分析（Applied Behavior Analysis : ABA）の視点から読み解き、子どもの自立的・主体的な行動を引き出すことの重要性についてお話ししました。第2弾となる本講義では、注意や叱責に頼るのではなく、「望ましい行動を増やす」ための具体的なアプローチについて、筑波大学附属特別支援学校での実践を交えながら解説します。さらに、いわゆる不適切な行動への対応についても、問題解決のための「ストラテジーシート」を用い、参加者の皆さまとともに考えていきます。応用行動分析の視点を取り入れることで、子どもの行動が変わるだけでなく、大人の子どもに対する見方や関わり方も変わります。本講義が、その一歩を踏み出す機会となれば幸いです。なお、第1弾にご参加いただけなかった方も、お気軽にご参加ください。

参加費無料

申込方法 予約制

参加御希望の方は、右の二次元コードから、申込みフォームにアクセスの上、お申し込みください。



なお、定員に達した場合は、参加をお断りする場合があります。申込み後、キャンセルする場合は、パークとよた担当までご連絡ください。

申込受付期間 令和8年5月25日（月）
～令和8年6月23日（火）

とき 令和8年6月26日（金）
18:30～20:00
《受付 18:15～》

ところ 豊田市青少年相談センター
（パークとよた）
豊田市栄町1-7-1 ※駐車場有

定員 70名程度



<問い合わせ先>

豊田市青少年相談センター（パークとよた）
公開セミナー担当 電話 32-6595
（受付時間 9:00～17:00 日祝日を除く）